



宝の目録だけでは「宝の持ち腐れ」。次に宝の「ありか」を地図に落としします。このプロセスで、宝に対する、また商店街に対する関心が強まり、愛着が深まることとなります。この作業で、「ここにも面白い物（人も）がある！」と、宝が新たに見つかるかもしれません。

そして、この宝の地図を持つて、もう一度商店街に出かけます。今度は商店街に点在する宝を地図上で結び付けてルートにしていけるのです。ここからが、商店街の原資としての宝を「よその人たち（来訪者など）」にも魅力のある「本当の」宝として磨きをかける、つまり「観光化」のプロセスになります。

それは単に、空間的に宝のありかを結びつけるわけではありません。何によって結びつけるか？それは、テーマやストーリーです。宝となる物や人や人は、それぞれが別個にあるのではなく、商店街の暮らしの中で歴史や文化を共有しています。宝を場所ではなく、歴史や文化のつながり（テ

宝の地図作りとルート作り

まず、「誰と」宝探しをするか？宝は

「宝探し探検隊」の設立

「宝探し」と聞いても、懐かしい響きを感じただけかもしれません。ところが、それが、地域資源活用型の賑わいづくりの手法として使えるのです。その場合の「宝」とは、いわゆる金銀財宝ではありません。日常生活のありふれた事物が「宝」になります。ただし、そのままでは宝になりません。そこで、ありふれた事物を宝に「する」のが宝探しです。では、商店街における「宝探し」の手順を簡単に説明しましょう。

お宝はすぐそばに！

阪南大学 国際コミュニケーション学部 国際観光学科教授 前田 弘氏

【商店街観光は「宝探し」から】

当然のことながら、簡単には見つかりません。そこで、どんな組織づくりをするかが大切です。ポイントには商店街の関係者だけでなく、多様な人びとに参加してもらうことです。もちろん住民が中心ですが、ぜひ商店街以外の人たちにも参加してもらいましょう。子どもやお年寄りや女性や買い物客などいろんな人の目線で宝を探します。様々な仲間を集めて、「〇〇商店街宝探し探検隊」を設立しましょう。

宝の目録作り

何を探すのか？何が宝なのか？商店街の宝といえば何よりも「商品！」となるでしょうが、むしろ「売り物でないもの」に注目した方が良いでしょう。商店街観光

は単なるショッピング観光でなくて、商店街という生活空間を楽しむ、味わってもらう体験型観光にしたいからです。では、宝になるのは何か？それは、宝の探し手にとりて思い入れのある、興味を引く物事ならなんでも良いのです。ある人には、商店の古い看板やファサードが宝になります。店の隠居の昔語りや宝になるかもしれません。商品ではないけれどおばあちゃんの絶品手作り団子、倉庫に眠っている懐かしの昭和の日用品、商店街全体の家並みやデザイン等々。興味や面白さを感じるものは何でも（物も人も人も）リストアップしていきます。これが商店街の「宝の目録」になります。目録作りは、商店街の新たな魅力（宝）を探検隊の仲間と認知し、共有化するプロセスです。

人集まったら、とりあえず「宝探し」に取り組んでください。お金も時間も余りかかりませんが、その活動はきつと商店街の新しい賑わいの核となることでしょう。

かかわる人たちが宝物

以上が「宝探し」の簡単な手順ですが、そのポイントはなんといっても「人」です。それは宝を探す人であり、宝そのものでもあります。結局、人が重要なのは、これらの宝の価値が金銀財宝のように宝そのものにあるのではなく、宝をテーマ化したりストーリー化したりする人のかかわり方にあるからです。

商店街の内外を問わず、まず数

賑わい! POINT

- 1 仲間を集めよう
商店街だけでなく、いろんな人の参加を
- 2 宝の目録を作ろう
あれも、これも、なんでもリストアップしてみる
- 3 宝の地図とルートを作る
宝をテーマやストーリーでつなげてルート化する

やっぱりエエ感じ、商店街

商店街観光

オモシロイ

大阪には商店街観光の先進事例とも言えるツアアがすでにいくつかあります。ここでは、千日前道具屋筋商店街と九条界限をはじめとする事例をご紹介します。

事例 1

千日前
道具屋筋商店街

千日前道具屋筋商店街の面白い体験

モデルコース 千日前道具屋筋商店街
大阪の面白い体験

●経緯

千日前道具屋筋商店街は、食器、調理器具、食品サンプルなど飲食店向けの商材を扱う店が多い商店街。その特色ある商品構成から「歩いてるだけで楽しい」商店街であり、日頃から賑わいを見せている。

しかし、「大阪は商売だけのまちやない。商売を通じて観光・文化教育に役立つ商店街になりたい」という千田忠司理事長の考えから、周辺商店街と協力し「大阪ミナミ千日前道具屋筋集客エリア

●内容

推進協議会」を結成。更なる観光客の誘致を目指し、修学旅行生を対象とする「大阪の面白い体験」プログラムを実施している。

修学旅行生向けの「大阪の面白い体験」は、大阪の「笑い」「食」「商い」という3つの文化を同時に学べる仕組みになっている。

「笑い」については、隣接する「ワッハ上方」でプロの落語家から鳴り物や扇子の使い方などを教えてもらうとともに、実

際に舞台にあがって落語の実演を体験。落語を通じてコミュニケーションの大切さを学ぶ。

「食」については、隣接するコナモンの名店にて経営者から人生訓話を聴講した後、昼食として、お好み焼きや焼きそばを各自で焼いて賞味する。著名な経営者からのお話には修学旅行生だけでなく、引率する先生も熱心に聴き入る。

メインテーマである「商い」は、商店街レクチャー、あきんど・丁稚体験、実演販売体験などのコースからなる。

商店街レクチャーでは、商店街役員が



商都大阪や千日前道具屋筋商店街の歴史や特徴を説明。郷土愛溢れる大阪商人の心意気を伝える。

あきんど・丁稚体験は、2〜3人ごとのグループに分かれ、商店街内の店舗にて即席店員として「丁稚奉公」するもの。店員さんから取扱商品や接客方法などについてレクチャーを受け、実際に、店頭で伝票整理やラッピング、値札付け、店内掃除などを手伝う。

実演販売体験／製作体験は、修学旅行生が自らどちらかひとつを選択し、グループに分かれて実施する。

実演販売体験は、タコ焼き、イカ焼きを製造販売するコースと、持参した地元産品を、商店街内で販売する地元物産販売コースがある。いずれの場合も販売だけでなく仕入、収支計算まで一貫して体験するのが特徴。

製作体験では、ちょうちんの絵付けや食品サンプルの作成などを、専門家から直接指導を受け、実習する。

「大阪の面白い体験」は、このような多彩なメニューを1日7時間の中で経験できる、極めて密度の高いツアーとなっている。

大阪を、商店街を知ってほしい

千日前道具屋筋商店街振興組合理事長 千田忠司氏



2001年以降、青少年の健全育成という趣旨で、累計で2万人以上の修学旅行生を受け入れました。「大阪の面白い体験」を通じて、大阪の良さと、地域社会を支え、文化・楽しさ・夢を売っている商店街を知ってもらえればとの想いで続けています。

この活動は、商店街の賑わい創出や知名度・信用向上につながり、商店街の連帯感強化にも寄与します。

また、学生に商売の在り方を教え、商店街の良さを伝えるという点で「商店街ならでは」の試みでもあります。

したがって、この事業を広く大阪の商店街で実施いただき、修学旅行生受け入れの輪を広げることが出来ればと考えております。希望される商店街には、私共が培ってきたノウハウなどもご提供させていただきます。

運営

千日前道具屋筋商店街では、一部ボランティアの協力を得ているが、基本的に全ての作業を商店街のスタッフで対応している。

「あきんど・丁稚体験」は、約40ある商店の多くが受け入れており、千田理事長のリーダーシップと「ミナミへの集客と青少年育成」という趣旨に賛同する商店街の結束力の強さ、そしてボランティア精神により、この事業は支えられている。

現在、年間で20校程度、1日最大150人を受け入れており、参加費は1人3千円(昼食費別)である。



15:00～17:00

●実演販売体験

地元から持参した産品や、タコ焼き、イカ焼きなどを商店街内の「出店」で販売する。売るだけでなく、仕入、収支計算まで一貫して体験する。

●製作体験

ちょうちんの絵付けや食品サンプルの作成など千日前道具屋筋ならではの学習素材を用い、職人の技を学ぶ。

商い
実演販売体験／製作体験商い
あきんど・丁稚体験

13:30～15:00

2〜3人ごとのグループに分かれ、商店街内の店舗にて商売実習。販売や伝票整理、値付けなどを現場で体験する。

食
大阪粉文化体験

12:00～13:30

コナモンの有名店にて経営者から人生訓話を拝聴。その後、大阪のお好み焼きや焼きそばを昼食に。

笑い
商店街レクチャー・芸人体験

10:00～12:00

商店街役員より商都大阪のレクチャーを受けた後、隣接する「ワッハ上方」でプロの落語家から上方落語を学ぶ。学生も高座に上がり、太鼓などの鳴り物実演などを体験。コミュニケーションの大切さも学ぶ。



やっぱりエエ感じ、商店街 商店街観光 オモシロイ

事例2 九条界限

●経緯

等身大の大阪の下町や商店街の魅力
を伝えたい——大阪芸術大学短期大学
部教授の谷口靖弘氏が生まれ育った九
条の町を「観光地」として案内ツアーを
はじめたのは、1997年に大阪ドーム
（現「京セラドーム大阪」）が完成した頃
から。ドーム球場の観戦客を九条の商店
街に呼び込み、下町の人情味や商店街の
対面販売の良さなどを実感してもらい
たいと始めたのが発端。以来、自らの観
光研究のフィールドワークも兼ねつつ、12
年間で約4千人以上を「わがまち」に
案内してきた。

●内容

谷口氏による「九条下町おもしろウォ
ーク」は、素顔の大阪の魅力を再発見す

ることが趣旨であり、訪問先は「いつも
暮らしているまち」そのものである。ま
ず、JR西九条駅に集合し、安治川のほ
とりで「六甲おろし」を合唱。1944年
に約10年の歳月をかけ完成した、地下
17メートル、長さ80メートルの安治川河
底トンネルを通過して対岸へ。メインの訪問
先は「キララ九条商店街」や「ナインモ
ール九条商店街」「九条市場」であるが、商
店街周辺に点在する魅惑スポットを多
数巡る約3キロのコースを2〜3時間か
けてゆつくり歩く。

この間、九条ご当地グルメを少量
ずつ賞味できるのでグルメファンにも嬉し
い内容となっている。また、ウォークでは、
「わが町九条と大阪自慢」という紙芝居
の披露など、まちの歴史ミニレクチャーが
多数散りばめられている。

下九
町条
おもしろ
ウォーク



運営

「九条下町おもしろウォーク」では、地
元ボランティアが活躍している。もともと
は谷口氏の趣旨に賛同する方々が中
心であったが、谷口氏自身が講師を務
める「観光ボランティア案内人養成
講座」の門下生なども加わり、現在は
約15人を数える。

ボランティアは、案内するうえで必要
な最低限の知識は覚えて本番に臨むも

の、個々人のパーソナリティを活かし
て説明することが基本。普通の大阪
のおじさん・おばさんガイドである。
ちなみに、このツアーの参加料は1人
千円。対する経費はツマミ食いグルメ代
（5〜6品）と保険料などで約600円。差
額は案内経費や資料代（資料は地元
有志作成の地図等）などに充当されて
いる。

九条下町おもしろウォーク コースガイド

JR西九条駅に集合

安治川河底トンネル

なかなか経験できない河
底の「地下道」を歩く。大
型エレベータに自転車ご
と乗り込むのにビックリ。



創業90年の栗おこしの製造販売店

栗おこしのツマミ食い。店
主からおこしの製造方法
のミニレクチャー。



公園で谷口氏が紙芝居 「わが町九条と大阪自慢」を披露

タコ焼きをツマミながら、
クイズをまじえた紙芝居に
聞き入る。



キララ九条商店街

USJの最寄地というこ
とで、「JAWS」を模したミニ
お好み焼きが!!



九条市場

「らっしゃい、らっしゃい」の連呼で対面販売の雰囲気満喫。
豚まんの試食など。

ナインモール九条商店街

京セラドーム大阪に近い商店街だ
けにバファローズののぼりが多
数。シュークリームの試食もあり。



京セラドーム大阪近くで解散

わがまちの「再発見」と 「新発見」

大阪芸術大学短期大学部
経営デザイン学科 教授 谷口靖弘氏

その地に住んでいる人にとってはなん
ともないような日常的風景でも、来訪者
から見れば新鮮で、写真を撮りたくなる
ようなものは沢山あるものです。わがま
ちの「再発見」と「新発見」——これが商
店街観光の要諦ではないでしょうか。

私が主宰するツアーでは、九条の下町
商店街に息づく対面販売を観光コース
に組み込んでいます。スーパードの買い物
に慣れた方の目には、対面販売の光景そ



れ自体が物珍しいものに映るようです。

また、グルメも重要な要素です。九条
の洋菓子店やお好み焼き店にお願いし
て試食をコースに盛り込んでおり、その
点も人気を呼んでいます。

商店街観光は、まちに対する愛着さえ
あればどこでもできると思います。みな
さんも是非とも実践してみてください。

商店街コラム

千日前道具屋筋商店街の「大阪の商い体験」を見学し
た。「広島名物、紅葉饅頭はいかがですか」と大きな声でPR
するのは広島の中学校からの修学旅行生。その横でタコ焼
きを慣れない手付きで調
理する姿も微笑ましい。同
商店街では、これまでに2
万人もの生徒を受け入れ
たという。10代の修学旅行先での体験は、一生の思い出と
して記憶に残るであろう。そう考えると、同商店街は、2万人
の「思い出つくり」の舞台となった訳である。

「商店街観光をして商売につながるの?」という声がある。
難しい質問である。商店街観光で売り上げがアップするの
か? となると答えは「???」である。しかし、商店街のお店を、
まち並みを、空気を、そしてまちの人々を知り、触れることから
「商店街とお客のおつきあい」はスタートするのだと思う。
まずは、「おもしろいお店があるやん」「やっぱり商店街はええ
感じや」と、お客様に知ってもらえる、感じてもらうキッカケ
として商店街観光に取り組んでみてはどうだろうか。



瀬尾晃司さん

●(有)プリティんがら屋●
天神橋筋5丁目商店街(振)

1 天五古書 Simple Twist of Fate

写真・美術・音楽・落語・芸能など趣味書を中心に取り扱う古書店。店内では、ジャズやクラシックなどの音楽が流れ、ゆったりとした気分で本を選ぶことができる。月に1回読書会を開催している。



2 レオナルド

1962年創業の高級インポートブランドのセレクトショップ。雑誌等で日本の名洋品店として紹介されている。高級ブランドのスーツやイタリア製のハンドメイドの靴を多く取り揃えている名店。



3 大阪くらしの今昔館

江戸時代の大坂の商家の町並みを実物大に復元しているミュージアム。当時の人々の生活に思いを馳せることができる。明治・大正・昭和の大阪の住まいと暮らしを模型と映像で紹介するコーナーは必見。



高坂明郎さん

●アラビヤコーヒー●
南地中筋商店街(振)

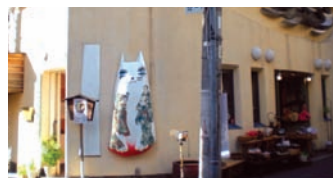
1 水掛不動さん

法善寺の境内にある不動明王像は、全身が苔に覆われたお不動さん。商売繁盛、恋愛成就、病魔退散などに御利益があるとされる。いつも線香の煙が絶えず、立ちこめた香りが、小料理屋、居酒屋などが軒を連ねる横丁にも漂っている。



2 上方浮世絵館

法善寺の西隣にある上方浮世絵館。江戸時代後半から明治初期に大阪で制作されていた歌舞伎役者を描いた上方浮世絵を中心に展示している。イベントスペースでは、浮世絵摺りの体験もできる。上方浮世絵を常設展示する、世界で唯一の私設美術館である。



3 ナンバ ヒップス namBa HIPS

「!」と「砂時計」をモチーフとした建物内には、アミューズメント、ゴルフ、スパ、飲食店などがある。また、日本初のビル壁面設置型フリーフォール「ヤバフォ」は、地上74mの高さから一気に落下するスリルが味わえる。



賑わい
商人&商店街

これでいいのだ！
わが商店街のお宝



3選！

商店街観光は「宝探し」からです。
商店街のみなさんにお宝をセレクトしていただきました。
あなたの商店街でも、お宝を「発掘」してみませんか？

やっぱりエエ感じ、商店街
商店街観光
オモシロイ

事例3 福島 聖天通商店街

福島聖天通商店街(振)が実施する「なにわ商人体験」には、年間20校、8百人程度の修学旅行生が参加している。同商店街は、近隣に宿泊施設が多いJR福島駅前に位置していることから修学旅行生の受け入れを積極的に行なっている。



「なにわ商人体験」は、千日前道具屋筋商店街から「技術移転」を受け、地元物産販売と商人講話、粉文化体験(お好み焼きの昼食)などを実施しているが、それに加え、プロ落語家から大阪弁での「販売指導」を受けることや、地域に縁ある福沢諭吉の「商人訓」を学ぶなどが盛り込まれている。そして、最大の特徴は、同体験コース



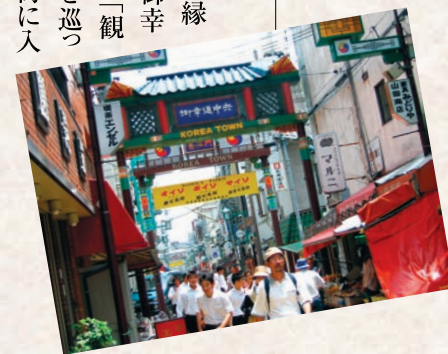
「占い」という特色を加えることで、オンラインの商店街観光を実現している事例である。

のクライマックス「占い教室」。これは「占いデー」や「占いの館」を常設するなど、「占い」を商店街振興に活用している同商店街ならではの企画で、ベテラン占い師から手相占いのスキルを受講するもの。受講者には、修了証を兼ねた姓名判断個人鑑定書を記念品として贈呈している。

生野区の御幸通りは「生野コリアタウン」として全国的に知られ、多文化共生が息づくまち。商店街には韓国・朝鮮食材や物産を扱うお店や飲食店が数多く立ち並ぶ。
この地域の商店街を舞台に、特定非営利活動法人「コリアNGOセンター」が行っている研修ツアーは、「在日コリアン」を切り口に、近代日本と朝鮮半島との関係を歴史的・社会的に把握する観点を盛り込み、多文化共生社会を実現するうえで必要な知識や態度について学ぶことに主眼を置いている。
約1時間のフィールドワークでは、朝鮮半



島と日本との縁を感じる「御幸森天神宮」や「観音寺」などを巡った後、商店街に入り、随所に設置されているコリア特有の造形物や石造、各商店に陳列されている商品について解説を受ける。その後は商店街内にある「班家食工房」という韓国文化の発信拠点で、キムチ作りやハングル講習会などの体験学習を受ける。ここ数年人気が高まっており、受け入れ件数は年間2百件前後で1万人程度が参加。学生対象の修学旅行と校外学習が約7割、社会人などを対象にした般研修が約3割となっている。



事例4 生野・御幸通り



今岡隆博さん
● 株大六堂 ●
三泉商店街(振)



富永高文さん
● フジヤ ●
横浜商店街(振)



森川朝博さん
● 森川朝博商店 ●
大阪鶴橋市場商店街(振)



西川博美さん
● チームなかつ ●
中津商店街



大西幸次郎さん
● 大西たばこ店 ●
南陽通商店街(振)



藤田美臣さん
● メンズカジュアル ヴァーサス ●
ダイエー京橋専門店街

1 お地蔵さんとお不動さん



大正区は川と運河に囲まれた島。水難で犠牲になった子供たちを供養するお地蔵さんが商店街周辺に多数ある。この玉水地蔵尊と一願不動明王も何処からか流れ着いたもの。現在は商店街の理容店が街のお宝として守っている。

1 はったつ市

月初めの「辰の日」に住吉大社にお参りすると商売繁盛のご利益があるとのことにあやかって「はったつ市」がスタート。買い物客を対象に、商店街の買物券が当たる抽選会を行っている。



1 ひめこそじんじゃ 比賣許曾神社

地元の氏神さん。境内には、大国主大神とお稲荷さんも祀られている。また、近くの御幸森天神宮には、境内に御幸戎神社があり、鶴橋は商売の神様に恵まれている。



1 mitoあ みとあ

レトロな雰囲気が漂う店内では、古着やオーダーメイドの服、帽子などを販売している。店の奥は、靴をぬいでくつろげるカフェ。生豆を手焙りした新鮮なコーヒーが味わえる。



1 対局の光景

将棋を指している人たちの光景も、それを見ている人たちも、ともにお宝。腕に自信のある人が窓側に座るのだそう。「あっ、違う、違う、そやない!」と窓の外からコメントしている人達の腕前や、如何に？



1 そよかぜ

地元出身のアコースティックユニット。京橋駅前の路上ライブで支持を集め、昨年デビュー。1stシングル『もう一度/あの風に乗せて』はオリコンチャートでも上位に。地元を愛する気持ちから、今もダイエー京橋店でライブを開き、毎回200人以上のファンに迎えらる。新たな京橋の期待の星。



2 商店街deラジオ体操

午後2時前になると商店街内にエプロン姿の店主らと近所の住人が集まってくる。時間厳守な井戸端会議?と思いきや聞き馴れたメロディーが、ラジオ体操だ。「元気なしょう店街」を標榜する三泉商店街ならではの活動だ。



2 逸品づくり運動

毎月1回開催される「横浜あきんど塾」では、店主たちが集い、住吉大社の門前町に相応しい逸品づくりを目指し勉強会を実施。同塾メンバーの井川豆腐店の「すくいとうふ」と「徳松とうふ」は代表的な横浜の逸品である。



2 「鮮」魚卸売市場

鶴橋の鮮魚卸売市場には伊勢からの「鮮魚列車」をはじめ、全国各地から新鮮な魚が集まる。ちょっとした慣れと度胸が必要ではあるが、一般の人でも買うことができる。トライする価値あり。



2 (有)ナカイ電機

創業43年目を迎えた電器屋さん。『電球を交換に来てくれへんか〜』と気軽に依頼する常連客。お年寄りからの信頼も抜群の地域に密着したお店。



2 「ソース二度づけ禁止」の串カツ

新世界からジャンジャン横丁にかけての一番は串カツのメッカ。店ごとに衣、ソース、ネタが微妙に異なり、一言で串カツと言っても奥の深い世界。ビール片手の地元客とカメラ片手の観光客が入り乱れる光景もお宝。



2 JR京橋駅西口

JR京橋駅は42万人の乗降客を誇る西日本有数のターミナル駅。ダイエー京橋店と隣接する西口は、毎日6万人程度が利用する賑わい溢れる改札口。京阪電鉄や大阪市営地下鉄との乗り継ぎも便利。



3 ABCボクシングジム

「商店街にあるから安心できる」と、若い女性も通うボクシングジム。全国レベルのトップアスリートから「健康のため」という地元中高年まで幅広い世代が集う「商店街のボクシングジム」である。



3 まいど市



毎週土曜日に開かれている「まいど(毎)市(土曜)市」。各店のおすすめ商品やサービスを提供する。商店街内に設置された「まいど掲示板」で各店のお得情報をチェックしてから買物するのが常連さんの常識。

3 焼き肉の総本山

鶴橋駅で電車の扉が開くと同時に流れ込む焼き肉の香り。嗅覚で駅名が推測できる希少な場所。特に駅の西側一帯は、焼き肉の名店が軒を連ねる激戦区。今さら説明の必要もない？



3 N BAR エヌバー

月2回(木曜日)にJAZZミュージシャンが集い、ライブが開催されている。町屋でのJAZZが、ゆったりとした時間を提供している。お薦めの「中津バーガー」(写真)はご近所のパン屋さんとのコラボ商品。



3 ジャン横美術館

明治、大正、昭和、平成の新世界界隈の写真が約120点。当の通天閣さんよりたくさん通天閣の写真を持っている。味気ない工事の壁面を「美術館」に仕立てるところが大阪流。



3 ワンツデー

「ワンツデー」とは、ダイエー京橋専門店街が毎月1日、2日に開催する販促イベント。この日に1000円以上の買物をすると支払額の10%相当の「お買物券」がプレゼントされる。

